

基礎編		
<b>2020年11月公開（オーディオロジー知識、所要時間：各コース約1時間）</b>		
番号	コース名	内容
1.1.	耳の構造・機能と聴覚伝導路	外耳・中耳・内耳の構造と機能、外耳から脳までの「聞こえ」の仕組み
1.2.	音の性質とdB	音の物理的な性質や特徴、可聴範囲、様々なdB、音声と騒音の音響特性
1.3.	難聴の種類と特徴	難聴の影響と種類、各種難聴の特徴
1.4.	補聴器の役割と補聴の考え方	補聴器の歴史、基本構造、役割、補聴の考え方、リニアとノンリニア増幅
1.5.	補聴器の音響調整	音響調整とイヤモールド、サウンドフック、チューブ、ドーム、ダンパーとベント
1.6.	補聴器のフィッティング理論	補聴器のフィッティング理論の歴史、NALとDSLの概説
1.7.	フィッティング理論より NAL-NL2とDSLv5.0	エッセンシャルクラスの補聴器で中心的に使用される、NAL-NL2とDSLv5.0の概要
1.8.	両耳装用	両耳聴、両耳装用と片耳装用の留意点
1.9.	閉塞感とハウリング	補聴器装用時に感じる閉塞感とハウリングの発生メカニズムと対策
<b>2020年12月公開（オーディオロジー技能、所要時間：各コース約1時間）</b>		
番号	コース名	内容
1.10.	補聴器フィッティングの基本的な流れ	難聴評価から補聴器調整までのフィッティングの流れの概要説明
1.11.	純音聴力測定	純音聴力測定の目的、気導・骨導閾値測定に関する標準的な測定基準、オーディオグラム記入方法
1.12.	語音聴力測定	語音聴力測定の目的、標準的な測定手順、結果の記入方法
1.13.	補聴器のスタイルと保守点検	補聴器の各スタイルとパーツ、掃除、パーツ交換方法
1.14.	閉塞感コントロール	オープンフィッティング、各イヤピースの取り扱いと音響効果
1.15.	Genie2の基本操作	オーティコンの補聴器フィッティングソフトの操作手順の概要
1.16.	特性測定	補聴器特性装置の測定手順、テクニカル測定
1.17.	ベントとダンパー	ベントの種類とその効果

注意：内容が一部変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

2020年10月現在

基礎編		
<b>2021年1月公開（テクノロジー/プロダクト、所要時間：各コース約1時間）</b>		
番号	コース名	内容
1.18.	補聴器の機能	ノンリニア増幅、マルチチャンネル、指向性、騒音抑制、ハウリング管理、ワイヤレス通信
1.19.	ベロックスシリーズ機能概説	ベロックスデジタルチップ、シリーズポートフォリオ、中核機能
1.20.	オープンS 機能概説	オープンSの中核搭載機能、ミニRITE-R（充電式）の取り扱い方法
1.21.	オープンプレイ機能概説	オープンプレイ（小児用補聴器）の性能比較、中核機能、フィッティング概説
1.22.	エクシードとエクシードプレイ機能概説	高重度難聴用補聴器のポートフォリオ、中核機能、フィッティング概説
1.23.	CROS送信機	機能、CROS/BiCROSソリューションとGenie2
1.24.	コネクティビティ1	ストリーマプロ、コネクトライン、ストリーミング時の機能
1.25.	コネクティビティ2	コネクティビティの概要、スマートフォンとのペアリング、ONアプリ活用
1.26.	ALD・学習支援装置	テレコイルとFMの概説、コネクトクリップ、エデュマイク
1.27.	ルビー	ベロックスSのポートフォリオ、ルビーの機能解説
1.28.	イニウム・イニウムセンス機能概説	イニウム・イニウムセンスシリーズのポートフォリオ、中核機能
イーダ研究所編		
<b>2020年12月公開（所要時間：2つのコースで約5時間）</b>		
番号	コース名	内容
1	パーソン・センタード・ケア（ひとを中心に据えたケア）を始める	ひとを中心に据えたケアの概要
2	クライアントの関与とイーダ・モチベーションツール	クライアントの関与の重要さと強化、イーダの動機づけツール

注意：内容が一部変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

2020年10月現在